

平成30年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 平成30年6月26日（火）午後1時30分から午後3時40分

場 所 雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室

出席者 ・山野義一教育長 ・徳永 卓教育長職務代理者
・平山田鶴子委員 ・中村妙子委員 ・森下祐樹委員
・事務局（本多教育次長、小松総務課長、下田学校教育課長
柴崎生涯学習課長、久保田スポーツ振興課長
総務課森田参事補（書記））

欠席者 なし

会議日程

第1 前回会議録の件

第2 報告事項

- （1）教育長の報告
- （2）各課の事業等の取り組み状況及び計画
- （3）各課からの報告

第3 その他

- ・第1回総合教育会議について
- ・次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が平成30年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、第2回定例会会議録署名委員に平山委員及び森下委員を指名する。

事務局

- ・定例会会議録を読み上げ提案する。

委員

- ・前回定例会で述べた陸上競技場の件について、中学校陸上の練習について、島原の競技場は使用料が高いので、なるべく諫早の競技場（サブグラウンド：無料）を使用するよう陸上関係者が話をされていた。雲仙市は陸上部が少ないので、南島原市より影響は少ないだろう。

教育長

- ・意見、質問がないことから第2回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

（1）教育長報告

教育長が資料により月例報告について説明・報告する。

教育長

- ・意見、質問がないことを確認する。

教育長が平成30年第2回雲仙市議会定例会（一般質問・議案質疑）について報告する。

教育長

- ・エアコン設置や議案質疑について説明をお願いしたい。

事務局

- ・小中学校へのエアコン設置については、すぐに設置するというわけではない。概算で10億円という試算があり、その財源をどうするか、また26校それぞれの設置方法があるため、まずは研究から始めていくことになる。

事務局

- ・電子黒板の使用によるメリット・デメリットについて、メリットは大画面による、静止画や動画を利用することにより、児童生徒の理解が図られやすいことがある。デメリットは教室にスペースが必要なことと、教員のための操作研修をすることが挙げられる。研修については、まずは各学校の担当教師向けに研修を行い、担当教師が学校に持ち帰り伝達・講習をして全ての教員に伝えていくようにする。現在、学校によって稼働率が違うという指摘もあったが、今後各学校全教室に設置し、教員への研修をすることにより平準化していくという答弁をした。

委員

- ・エアコンの設置費用について 1/3 が補助金で措置されるようだが、これはエアコンの設置工事への 1/3 の措置と考えてよいのか。

事務局

- ・補助金は、設置に係る費用（機器の費用、工賃）や高圧電力（キュービクル）の工事費などがあり、残りは起債（合併特例債）で賄う。一度設置すると機械の故障のたびに対応する必要があり、その工事費については国の措置がない。10年後20年後その費用をどのように捻出していくのかという別の問題が発生してくる。

委員

- ・子どもの見守りについて、自然発生による災害は難しいが、突発的なトラブル（切りつけ、声かけ）がある。通学路の把握・安全確保、点検や危険箇所の把握をブロック塀に限らず進めていく必要がある。

事務局

- ・登下校の安全指導については各学校において必ずやっている。特に小学校低学年については、教員が通学路と一緒に歩くなどして危険箇所を確認し指導している。出来る事を出来る範囲でやっていくことが限界のように感じる。

委員

- ・行政ができることは、危険箇所の確認・整備・指導などがあり、個々の家庭環境により指導が行き届かない場合もある。この機会にもう一度把握しておく必要がある。

教育長

- ・広報誌に保護者だけによる見守りは限界があるから、市民みんなで見守りをお願いするような事を教育委員会より発信したり、校長に話をして、学校だよりで地域の方をお願いしていく。現在、学校がPTAと連携して危険箇所を点検しており、順位を付けて整備している。一例として市道におけるカラー舗装を実施した。学校には安全・安心な教育環境づくりが教育活動の基本なので、徹底していくという話をしている。

委員

- ・夏休みに入る前に公民館で、学校側と地域の方で話し合いが行われている。その際により強く安全面について話し合いをしたほうがよい。

事務局

- ・瑞穂地区は地域の方も交えた話し合いの場が持たれている。統合を機に全地区が学校・保護者・地域の方も交えて話し合いができるよう、今後啓発を図っていく。また、こころねっこ運動についてなかなか浸透していないので、広報紙8月号より毎月こころねっこに関する記事や家庭教育に関する取組みを掲載する予定である。家庭教育7か条については、ポスターを作製し公民館や文化会館に掲示し、地域の方に関心を持ってもらうよう広報活動をしていく。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

(2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画について

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

教育長

- ・ALTは今年度何名代わるのか。

事務局

- ・2名帰国し、3名来日の予定である。帰国する学校は瑞穂中と小浜中である。

委員

- ・児童生徒サポートセンター事業とはどのような事業か。

事務局

- ・不登校や学校生活に不適應の子ども達を対象に、市の訪問指導員と県より派遣されたスクールソーシャルワーカーが対応している。月1回月末に運営委員会を開催し、毎月の実施内容から翌月はどのように対応すればよいか話し合い、課内で共通理解を図っている。現在3名の生徒が週1回ずつ来ている。千々石中の生徒には、時々教員が来て授業をしているが、ほとんど訪問指導員が学習支援をしている。

教育長

- ・先日行われた中体連について、軟式野球における合同チームの実態報告を。

事務局

- ・軟式野球は吾妻中と千々石中の合同チームで参加をしている。来年度は吾妻中はおそらく新入生が入部すると単独でチーム編成ができるが、千々石中はできない状況。この状況を鑑みて両校の外部指導者、野球部の保護者会長が話に来られた。今現在の中体連の規定では、試合等を行う選手が満たない学校同士が合同チームを編成することは認められているが、選手が足りているチームと足りていないチームの合同はできないことになっている。一方、連盟等が主催している試合ではこれに関係なく合同チームが編成できるので、中体連でもこのようにできないか話をしている。市としては県中体連の規定に則って進めていくという話をした。

教育長

- ・雲仙市青少年・子ども育成会議には会長1名と副会長1名あるが、誰になるのか。

事務局

- ・会長には、青少年健全育成協議会の会長が、副会長には、子ども会育成連絡協議会の会長になる。初めての取組みなので、それぞれの組織の代表に統括してもらう。

委員

- ・前回の市民ラジオ体操会では、集合時間と開始時間の配分が良くなかったようであったが、今回の時間はどうなっているのか。

事務局

- ・前回の反省を踏まえ、6時20分よりワンポイントレッスンを開催し6時30分から本番となる。前回はCDの音源で開催したが、6時30分からの生の音源でした方がいいとの意見があったので、そのようにする予定。

教育長 新小浜体育館（仮称）整備のプロポーザルに手を上げた会社は何社あるのか？

事務局

- ・資料を取りにこられた会社が8社で、現在のところ参加表明はない。愛野コミュニティセンター（仮称）の時は締切間際に8社持ってこられたということで、今回もそのようになるのではないかと。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

（3）各課からの報告

- ・学校教育課より、6月8日に実施された雲仙小学校の第4回統合検討委員会について、保護者アンケートの結果報告を行った事や検討委員会での内容等について報告する。
- ・学校教育課より、県の学力調査における本市の小中学校の結果について報告する。
- ・スポーツ振興課より、7月21日実施の市民ラジオ体操会及び7月31日実施の夏期巡回ラジオ体操について詳細を報告する。
- ・スポーツ振興課より、雲仙市新小浜体育館（仮称）整備の進捗状況及びみずほ温泉千年の湯あり方検討委員会の経過について報告する。

委員

- ・昨年は、市民ラジオ体操会の会場よりも、各地区で集まって実施されているラジオ体操が多いような感じがした。市民ラジオ体操会や夏期巡回ラジオ体操についてさらに周知されてはどうか。

事務局

- ・各学校へ2つのラジオ体操について周知をお願いしているところである。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

日程第3 その他

- 1、平成30年度第1回総合教育会議の協議テーマについて説明し、協議により一部テーマを修正することとした。
- 2、平成30年7月31日（火）午前10時から7月定例会を雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室で開催することを確認する。
- 3、第1回学校訪問について7月4日（水）北串小学校において実施することを確認し、併せて新小浜体育館（仮称）の建設予定地の視察を行うことを報告する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、平成30年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。